

# 交通ルール つながる

# ルを守って え・が・お

7月25日、「交通事故防止みやぎ・ふくしま県境キャンペーン」が実施されました。

このキャンペーンは、平成13年5月に起きた交通事故死亡事故がきっかけで、毎年桑折地区と白石地区で交互に行っています。

今年は、宮城県白石市の斎川パーキングが会場となり、両地区の交通安全関係団体の皆さん、国見・桑折町のそれぞれのキャラクター「くにみもたん・ホタピー」や、白石市の甲冑工房「片倉塾」甲冑隊の皆さんが参加しました。

ドライバーにチラシや反射材、桑折・国見両町の桃ジュース、白石市のうーめんを配りながら、安全運転やシートベルト着用、飲酒運転の根絶を呼び掛けました。

## 交通安全県境キャンペーン



安全運転を呼びかける福島北警察署佐藤正人署長とくにみもたん



国見町交通対策協議会長賞（最優秀賞）の6人

## 交通安全標語 コンクール

7月16日、国見小学校で国見町交通対策協議会主催の交通安全標語コンクール表彰式が行われました。岡崎忠昭教育長のあいさつの後、表彰が行われ参加した桑折地区交通安全協会の国見町内各支部の皆さんから、温かい拍手が送られました。

このコンクールには国見小学校の児童132人からの応募があり、最優秀賞6人を含む38人が入選しました。最優秀賞に入選した標語は、看板になり町内の交差点に設置されます。

今回入選した最優秀賞以外の標語については、8ページに掲載してあります。

## 国見町交通対策協議会長賞最優秀賞

じてんしゃも  
ひともいちれつ ままろっね  
一年 菊地 恭平

いつもの道  
ゆだんしないで あるこうよ  
二年 吉田 唯菜

守ろうよ  
自分の命 自分でね  
三年 齋藤 孝亮

自転車の  
かささしうんてん きけんだよ  
四年 高橋 奈那

朝ねぼう  
とび出しかけ足 事故のもと  
五年 和田 蒼生

バスのむこう 「おかえりー」に  
かけ出さないで まず確認  
六年 遠藤 由香

## 高齢者への交通安全啓発運動



7月22日、公立藤田総合病院玄関前で高齢者へ交通安全を呼び掛けようと、町の交通対策協議会による街頭啓発活動が実施されました。

当日は、交通安全協会や母の会などのメンバーが、来院者に反射材や交通安全啓発のチラシを配り、一人一人に交通事故防止を呼びかけました。

## 国見町交通安全母の会 小坂地区会長

遠藤智江子さん（46歳）にお話を伺いました。



暑い日は、車の運転も疲れますよね。無理をせず、休憩をとって、安全運転を心がけ、「家族の交通安全」を守りましょう。